

みんなで生き方を考えよう！

文責：道徳主任

道徳教育だより 2月号

上赤 義人

道徳研究発表会（オンラインワン事業）開催

2月6日、道徳研究発表会がおこなわれました。市内から多くの方が来られ、90名余りの先生方が参観されました。

1年生全クラスの道徳の授業が公開され、多くの先生方が参観されている中で、多少の緊張感もあったと思いますが、子どもたちの活発な意見交流や真剣なまなざしが見られました。

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の澤田浩一氏から「道徳の時間を中心としたこれからの道徳教育」を演題としてご講演をいただき、今日の道徳教育のあり方をはじめ多くのことを学ぶことができました。

来年度は、本研究の最終年度のまとめの年となります。今まで以上の努力を重ねていきたいと思えます。また、来年度の発表会では、保護者・地域の方々にも参観していただけるようお待ちしております。



チャイムと同時に授業が始められ、すばらしいと思います。生徒たちの一生懸命に考えたり、発表している姿が印象的でした。

校内掲示や道徳通信など授業だけでなく、日頃から「考える」環境づくりが大切だと感じました。

生徒の意見をしっかりと取り上げ、その意見から全体へ広げていって授業内容につなげている。

研究発表会 参加者の声

学校行事・総合的な学習の時間・各教科、校内掲示、道徳通信等あらゆる場面・機会に道徳教育を学校全体で実践されている。

澤田先生の講演は、学ぶことが多くありました。魅力的な資料を吟味すること、共に語り合う「対話」が大切であることなど理解できました。

教室環境や校内掲示など、生徒のよりよい成長に効果的だと思います。

映像やワークシートなど様々な場面で、授業の工夫が見られました。

切り取り線

保護者の方へ

平素、本校の道徳教育にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。本校では従来より道徳教育をすすめています。今後も、よりよい道徳教育を推進するために、皆様から本校の道徳教育の取組や本通信等についてご意見をお聞かせいただけないでしょうか。ご協力よろしく申し上げます。お子さんを通じて担任にご提出ください。